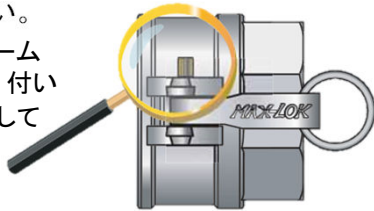


安全にお使いいただくために必ずお守りください

■ピン抜けの確認

カムアームのピンが抜けると危険です。ピンのローレットが出ていたら、万力等で所定の位置に戻してください。ホースの加締め等で、ピンを外した時はローレットの位置を確認して基の状態に戻して下さい。

その時、カムアームが正しい方向に付いている事も確認して下さい。



■ガスケット有無の確認

ゴム系のガスケットは、粘着性の強い流体で使用するとアダプターのシール面に着いて外れる場合があります。セットする前に、ガスケットが入っている事を必ず確認して下さい。ガスケットが無い状態で液を流しますと非常に危険です。

ガスケット有り

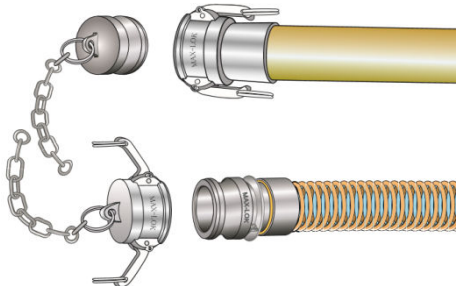


ガスケット無し



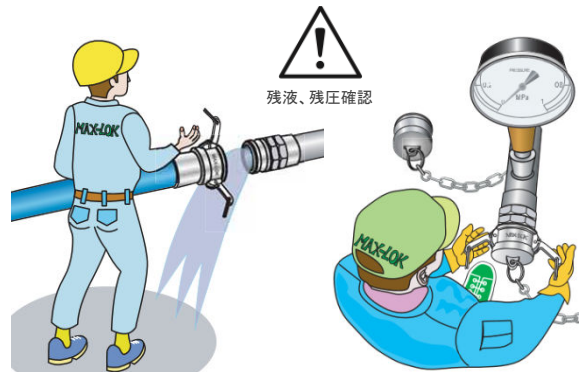
■防塵、損傷対策

配管、ホース等の塵や埃を防ぐのにダストキャップ、ダストプラグの使用をお勧めします。アダプターのダストキャップ使用は、本体の損傷をも防ぎます。ポリプロ製のカップは軽量で使い易いです。



■日常使用時の注意

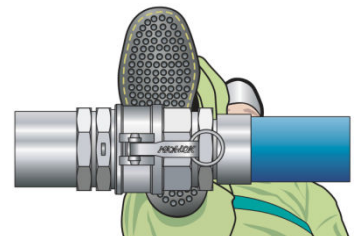
カップラーを外す前に、配管内の残液、残圧の無い事を確認してから脱着して下さい。残圧の有る状態でカムアームを開くと、ホースが振られる等の危険を生じる事が有ります。ダストキャップ、ダストプラグには安全の為、チェーンをお使い下さい。



ホース内に液が入った状態で、ホースを引張って移動したり落下させたりすると、カムアームが突起物に接触して外れる恐れがあり、危険です。



ステンレス製や銅製の大口径は、落下して足等に当たると危険です。又、アダプターのシール面が傷つくと漏れの原因になりますので注意して下さい。



作業中、カップリングの上に足を掛けたり、上に乗ったりしないで下さい。足元が不安定になり転倒すると危険です。又、衝撃を加えると漏れや事故の原因になります。

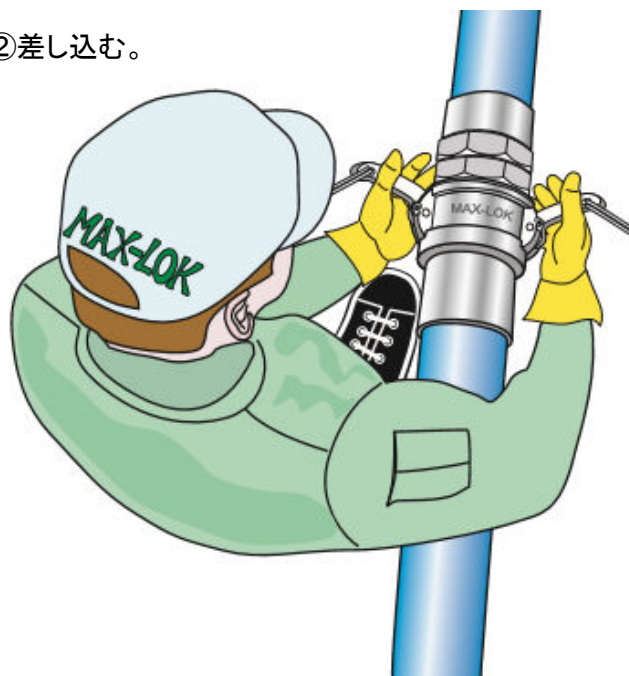
安全にお使いいただくために必ずお守りください

■脱着方法

①カプラーをアダプターに合わせる。

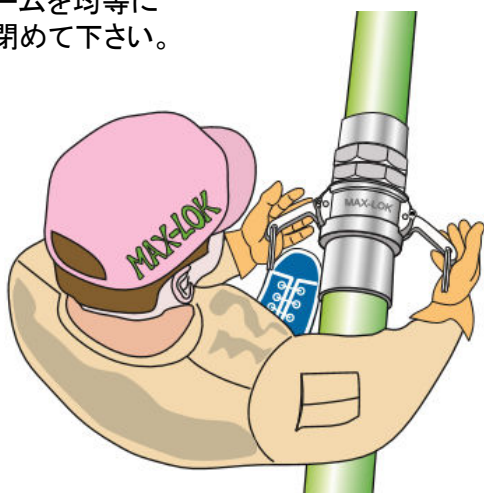


②差し込む。

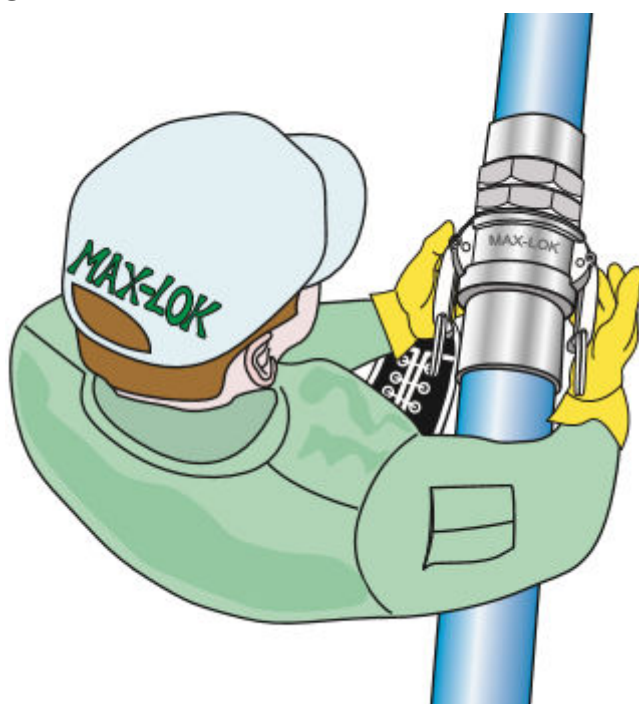


開閉注意

カムアームの操作は両端のアームを均等にゆっくり閉めて下さい。



③カムアームを一杯まで閉め込んで完了。



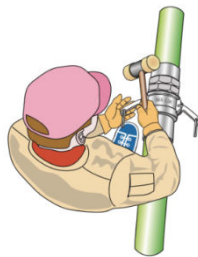
安全にお使いいただくために必ずお守りください

■操作上の注意

カップラーとアダプターをセットする時、片側のカムアームを完全に締めて反対側を締め様とすると、セットし難い場合が有ります。出来るだけ均等にカムアームを操作して下さい。
外す時はカムアームを片側ずつ外しても大丈夫です。



固まり易い流体に使用しますとカムアームがセットし難くなる場合が有ります。
この様な時、カムアームをハンマー等で叩かないで下さい。変形したり、アダプターに傷が入り、漏れの原因に成ります。使用後直ちに掃除をする様な対策をお願いします。



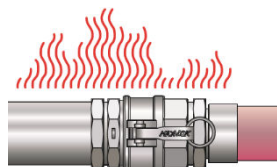
■日常安全にお使いいただく為に

配管やホースとセットする時、カムアームが降りた状態で、アダプターと繋ごうとしないで下さい。衝撃でアダプターのシール面に傷が入り漏れの原因に成ります。



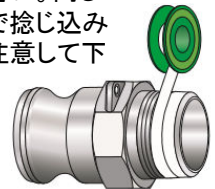
■高温配管の取扱に注意

スチーム等の高温配管は、素手でカップラーに触れますと火傷をします。危険ですから素手で取り扱わないで下さい。作業終了の後、十分温度が下がってから、必ず作業手袋をして作業を行って下さい。

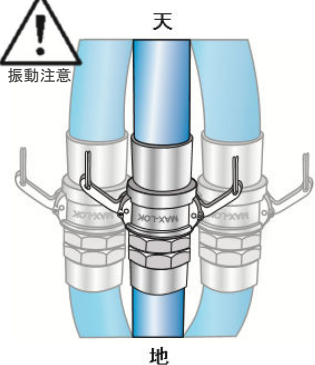


■配管取付時の注意

管用テーパネジ(Rネジ)を雌ネジ(Rcネジ、Gネジ)に捻じ込む場合、シールテープを巻くかシール剤を塗って下さい。同じ金属どうしをシールテープ無しで捻じ込みますと、外れなく成りますので注意して下さい。



カムアームカップリングを配管やホースに取り付ける場合、右図のようにカップラーが下を向きますと、振動等によりカムアームが開く場合が有ります。開くと危険ですので、安全の為にセフティーピンを使用して下さい。



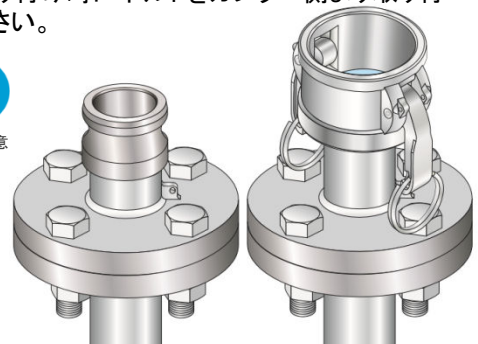
■セフティーピンの使用

カップラーの標準品には、セフティーピン用のホールが付いていません。カムアームの突然の開きや、輸送中のダストプラグ、ダストキャップの落下防止等にご使用下さい。



■フランジ製品のボルトの位置

本体取り付け時にボルトをカップラー側より取り付けて下さい。



安全にお使いいただくために必ずお守りください

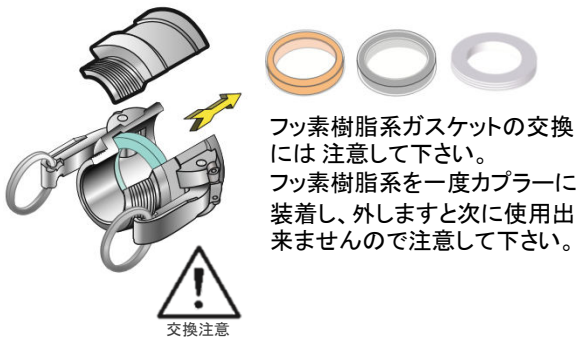
■材質選定

ボディの材質、ガスケットの材質は流体の性質、常用圧力、最高使用圧力、使用温度等によって決めて下さい。真空使用には条件によって、ガスケットが変形しにくい材質を選定して下さい。



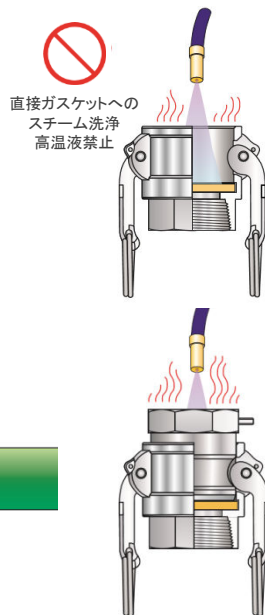
■ガスケット交換の注意

ガスケットの標準品はブナ-Nです。ドライバーやプライヤー等で交換出来ます。交換時に、ドライバーの先端でシール面を傷付けないよう注意して下さい。傷付けますと漏れの原因になります。



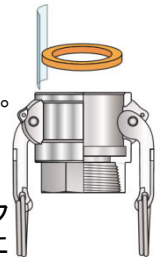
■FEP全包ガスケットの注意

カプラーにFEP全包ガスケットをセットしてスチーム洗浄や高温液に浸す場合、必ずアダプターを取り付けるか、配管やホースにセットしてから行って下さい。直接ガスケットへのスチーム洗浄等を行いますと、ガスケットが変形して洩れの原因になり危険です。

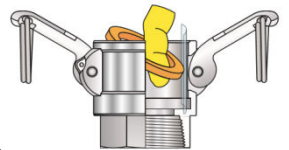


■PTFE/FEP全包ガスケットの注意

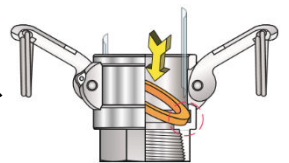
①交換するガスケットとプラスチック板(15mm x 55mm位)1枚用意して下さい。ペットボトル等を利用して下さい。カプラーのシール面を布でよく拭いて下さい。



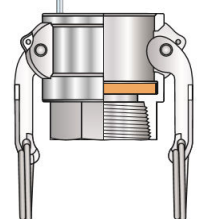
②カプラー窓部のエッジをプラスチック板で保護してから、ガスケットを斜めに差し込んで下さい。



③ガスケットの端がカプラーのシール面に着きましたらプラスチック板を抜いて下さい。次に、ガスケットの上面エッジをカプラーの溝に確り入れてから反対側の窓のエッジをプラスチック板で保護して、ガスケットを少しずつ押し込んで下さい。

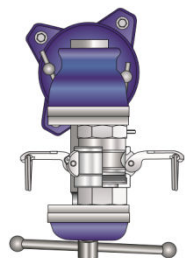


④カプラーの溝に入りましたらプラスチック板を抜いて完了です。



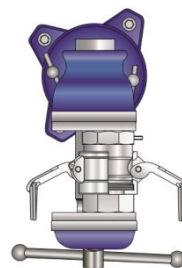
カプラー窓部のエッジでフッ素樹脂を損傷しますと漏れの原因になります。プラスチック板で確り窓部を覆って下さい。
フッ素樹脂部の損傷に注意

①カプラーとアダプターを右図のように万力でセットして万力を少しずつ締めして下さい。

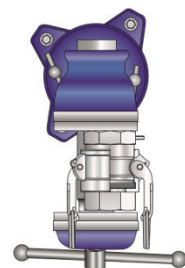


②カムアームが無負荷の状態になりますので、下図の位置にカムアームが成りましたら万力を締めるのを止めて下さい。

③右下図の位置に成るまで、手で締めして下さい。この時、本体が万力から外れて落下しますので注意して下さい



②少しずつ締める



③手で締める(この時万力から外れる)

